



©telling pictures

ハーヴェイ・ミルク

2025/6/11 WED [昼の部]14:00~ [夜の部]18:30~

豊中市立市民公益活動支援センター(庄内コラボセンター1F)

各回定員20名・入場無料・申込不要

About the film

ゲイと公言して、全米初の公職（サンフランシスコ市市政執行委員）に選ばれたハーヴェイ・ミルクの活動と、その暗殺事件の裁判を記録した世界のドキュメンタリー映画史上に残る傑作。民主主義の基本が描かれていると大学でも多く取り上げられている。ミルクと関わりのあった100人近い人々にインタビューを行い、その中から実際に映画で証言する8人が選ばれた。映画はこの8人のインタビューを軸に展開してゆく。1985年アカデミー賞最優秀長編記録映画賞受賞作。

原題:The Times of Harvey Milk 制作:ロバート・エプスタイン／リチャード・シュミーセン/1984年/アメリカ 配給:パンドラ 時間:87分

監督:ロバート・エプスタイン 製作総指揮:ロバート・エプスタイン／リチャード・シュミーセン 音楽:ダン・グリーチ 撮影:フランシス・リード 編集:デボラ・ホフマン／ロバート・エプスタイン

▶トヨカツcinemaは、多様化する地域課題・社会課題について、映画をきっかけに知り、語り合う場です。来場特典としてマチカネポイントをプレゼントします。お気軽にお越しください。

<といあわせ>

豊中市立市民公益活動支援センター（運営団体:NPO法人とよなかESDネットワーク）

〒561-0833 豊中市庄内幸町4-29-1（庄内コラボセンター1F）

電話:06-6398-9189 FAX:06-6398-9209 メール:toyonaka.npo@jcom.zaq.ne.jp



2025/7/9 WED
14:00~, 18:30~

7月上映作品：

プラスチックの海

多くの科学者や識者が警鐘を鳴らす、海洋プラスチック問題。年間800万トンものプラスチックが海に捨てられているという。その大半は海底に沈み、海面や海中を漂うプラスチックも永久に分解されず、マイクロプラスチックとなって食物連鎖の一部になっていく。プラスチックゴミによる海洋汚染の実態とは？そしてプラスチックが海に、プランクトンに、クジラに、海鳥に、人体に及ぼす影響とは？デイビッド・アッテンボロー、シルビア・アール、タニヤ・ストリーター、バラク・オバマ他が出演。海と共に生きる全人類必見のドキュメンタリー。

原題:A Plastic Ocean 制作:2016年/イギリス・香港 配給:ユナイテッドピープル 時間:100分

監督:クレイグ・リーソン 製作総指揮:ソンジア・ノーマン、ダニエル・アウエルバッハ、クレイグ・リーソン プロデューサー:ジョー・ラクストン、アダム・ライプジグ 脚本:クレイグ・リーソン、ミンディー・エリオット 音楽:ミリアム・カトラー、ローレンス・シュワルツ 撮影:マイケル・ピッツ 編集:ミンディー・エリオット キャスト:クレイグ・リーソン、デイビッド・アッテンボロー、バラク・オバマ、シルビア・アール、タニヤ・ストリーター、リンジー・ポルター、ジョー・ラクストン、ダグ・アラン、ベン・フォークル、マイケル・ゴンジオールほか



8月上映作品：

LIGHT UP NIPPON - 日本を照らした奇跡の花火

2011年3月11日に起きた東日本大震災。未曾有の地震と津波による膨大な被害を目の前に、日本中の誰もが下を向き、これから日本がどうなっていくのか不安を抱いていた時、ひたすら上を向いて歩き続けた男がいた。絶対に不可能と思われた、東北太平洋沿岸部10ヶ所での花火同時打ち上げ。それを可能にしたのは、たった一人の男の情熱と、「いつまでも下を向いてられない」と立ち上がった現地の人々の生きる力だった。密着900時間の映像をもとに描かれる、情熱と真実のドキュメンタリー。

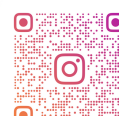
原題:LIGHT UP NIPPON 制作:LIGHT UP NIPPON/2012年/日本 配給:ティ・ジョイ 配給協力:ユナイテッドピープル 時間:99分
監督:柿本ケンサク 製作総指揮・撮影:AKKI プロデューサー:湯川篤毅 音楽:坂本龍一／コトリング (commons)



2025/8/13 WED
14:00~, 18:30~

イベント情報はSNSでも発信中→

※上映作品は予告なく変更になる場合があります。



TOYONAKA.NPO